

ボストンでの作品展。和紙夢絵作品、62点、私が、日本から持参。

額装は、現地の学芸員2人が、サポート。

無事、2ヶ月の作品展示。レセプションが終わると、私は、また、取材一人旅へ。

いい体験をさせて頂いた。気づきと学び。久楽には成果、上々。

有形無形、我が身への投資。英会話をもっと、勉強しておいたらよかった。

50歳からの夢挑戦。未熟さを痛感。当然の反省。

今後の人生の旅を、再検討する機会になった。そして、いい思い出、心の財産になった。



**山はみどり 野に花 人にはこころ**

# 地球のかおり

米・ニューイングランドのポストン郊外から、車で北上した。2日目の朝。なんとなく脇道へ。いつ果てるかもしれぬ山道を進むにつれ不安が募る。と、突然、舞台の幕が開くように視界が開けた。湖水の上をまるで霧が走っているように見える。実に素早い。ドライアイスのように白くない、微妙な色彩。かすかに風を感じる。一定方向ばかりではなく、風がまわっているような感じだった。

(夢絵作家 久樂<sup>キウガク</sup>迎古)

霧走る湖水

産経  
新聞